

令和３年度
日本リハビリテーション専門学校
第１回学校関係者評価委員会議事録

１ 日 時

令和３年１１月２６日（金）１６：００～１７：００

２ 場 所

日本リハビリテーション専門学校本校舎２階教室 ※オンライン開催

３ メンバー（敬称略）

外部委員：福光、臼杵、横山、三沢、田中、大塚（欠席）

内部委員：二瓶、草野、工藤、阿部、深瀬、松生、手塚、

事務局：谷田部、

４ 会議内容

以下議題に添って進行 進行：深瀬

【議題】学校関係者評価委員会

Ⅰ．令和３年度新入生アンケートについて

Ⅱ．令和２年度卒業生アンケートについて

Ⅲ．国家試験対策委員会より

① 昨年度の報告

② 問題点について

③ 今年度の取組み

学校関係評価委員会を開始、資料に添って説明。

<意見交換>

福光委員 2019年、2020年の結果から学生が十分に勉強できなかったような気がするがそれはオンライン授業中心で対面授業が少なかったのか、それ以外に何らかの理由があるのでしょうか。

深瀬委員 学生、教職員もリモートには慣れていないので特に学生はその傾向があります。
教える教員側としても大変苦労しました。

福光委員 学校としての遠隔授業の難しさを感じます。

深瀬委員 感染対策と並行しながらの授業は実際大変でした。

阿部委員 実際、遠隔授業の学生へのフォローが難しく、たとえばPCがあってもプリンターがなく資料が印刷できない、また実習に出るのが怖いなど、コロナに対する不安が多かったように思います。

松生委員 国家試験対策について下記のように報告します。

①昨年度の報告

コロナ渦の影響により、登校してグループ学習を行う機会が減少し、合格率の低下が危ぶまれたが、上記の通り各学科とも新卒の全国平均を上回る結果となりました。

②問題点について

グループ学習にのれない低学力者への対応が今後の課題となっています。低学力者の場合、グループ学習において説明を聞いていることが多く、発言する機会が非常に少ない。そのためしっかりと知識を習得しないままグループ学習が進んでいる。PTOTとも設問の難易度が上がっており、1～3年時の取り組みの重要性が増しています。

③今年度の取り組み

昨年度と比較し、コロナ感染の影響が少なくなったため、基本的には全員登校して国試対策を行っています。

○外部講師による専門基礎科目の特別講義

11/1～11/5

○外部講師による専門基礎科目の特別講義

12/11, 12/12, 12/25, 12/26, 12/28

○各単元の特別講義

随時

○業者模試4回 校内模試4回

模試の結果より適宜個別指導、グループ指導を担当、国試委員が指導を行う過去問を中心に校内模試を行っています。

6年前の反省から国試対策委員会を設立し、以後合格率は全国平均を上回っています。

深瀬委員 国家試験対策として、対面でのグループ学習を行っているが、依然低学力学生への対応が問題で、なんとかレベルアップを図っています。

臼杵委員 新入生アンケートに関して1点質問があります。
新入生アンケートから、夜間部において、新規高卒の卒業生が増えている理由ですが、日中働きながら通学しているのでしょうか。

阿部委員 PT学科においては4～5年前から入学前面談を行っています。昼間部から夜間部に合格した学生もいますが、金銭的な問題から夜間部を希望した学生もいます。入学前の面談において一応アルバイト状況を確認し、アルバイトを継続するには入学後に解剖学、生理学などの科目は80点以上取ることを継続の条件としています。
また、リハビリ助手などのアルバイトも紹介していますが、あくまでも学習の障害にならないよう指導しています。

臼杵委員	新入生アンケートの２点目は入学理由として親の意見も反映しているのでしょうか。
深瀬委員	主に学生を対象としたアンケートで親の意見はアンケートには特に繁荣していません。
阿部委員	入学前の新入生面談の際、親も同席、もしくは親と電話連絡を行っており、入学理由については、あらかじめ確認を行っています。 特に説明会に両親とともに参加された場合、親御様には学校内容を十分説明しておりますので、入学後大きなもめごと等は発生していません。
横山委員	FD/SD 研修が行われ「コンピテンシー」があることは大変大事なことで人間教育に活かされていると思います。とにかく国試の合格に目が行きがちではありますが、将来人としてあるべき姿は大変大事な事かと思います。
深瀬委員	コンピテンシーを学内にどう反映させるかが大きな課題にて、今後も教職員総出で行っていききたいと思います。
田中委員	実習に関して感じていることは特に高度なテクニック等は必要ないので、基本の部分だけを身につけて実習に参加してほしいと思います。 国試対策に関しては、自分の在学中に外部の先生方に特に解剖学の解答のテクニックなどを教えていただき大変ありがたかったと記憶にあります。 ところで、昨年からのリモート教育の大変さは感じたのでしょうか。
深瀬委員	リモートの講習会を学内等で行い、試行錯誤しながら何とかこなしていき ました。 特にリモートの難しい演習関係についてはいろいろと工夫して行いました。
田中委員	オンデマンドでも行いましたか
深瀬委員	オンデマンドで行い、また ZOOM 対応を行いました。音声だけの授業もありました。
田中委員	自分が学生時代に先生の声レコーダーで録音し、後で何度も聞き直すことは大きな利点がありました。
三沢先生	新入生アンケートにおいて、学校を理解するための情報源としてホームページをはじめネットが中心となってそれが情報源となっています。
深瀬委員	ネットでの情報源が中心ですが、やはり学校説明会が最後の情報源にて最終的な決め手となっており、本校の広報委員会で説明会での説明方法の

工夫を検討行っています。

- | | |
|------|---|
| 三沢委員 | 是非今まで通り、説明会の場でも、PT/OT 職の将来性を PR していただきたい。 |
| 福光委員 | 国試対策の手厚いフォローが感じられますが、既卒者に対する対策をどのように行っていますか。 |
| 阿部委員 | <p>国試対策委員会においても毎回既卒者のフォローについてテーマにあがっています。既卒生は国試不合格になると、学校には来ない、せめて講座には参加してもらいたいと思います。</p> <p>特に PT 学科は登校しないので、サポートすることが難しい。</p> <p>中には受験番号も教えてもらえず、追跡調査するのも難しいし、音信不通で連絡取りづらい既卒生もおります。</p> |
| 福光委員 | 既卒生の中には将来いい PT/OT になってく入れる逸材も必ずいると思いますので、十分なフォローをお願いしてください。 |
| 深瀬委員 | 福光先生のご意見を参考にして、ひとりでも多く合格できるようがんばっていきます。 |
| 深瀬委員 | 今回は2月18日（金）午後3時からを予定しております。事前に各委員に事務局からご連絡いたしますので、よろしくお願いします。 |
| 草野委員 | 本日は貴重なご意見を戴きまして誠にありがとうございました。先生方から戴きましたご意見は今後の学校運営に役立てて参りたいと思います。今後とも宜しく願いいたします。 |